

愛知みずほ大学は、3つのポリシーに定める「豊かで活力ある健康社会に貢献する」人材を育成する教育活動について、その成果を可視化し、改善へ向けた取り組みを恒常的に実施していきます。そのために、全学レベル、教育課程レベル、科目レベルの3段階で、学生の学修成果の達成状況を以下のような指標を用いて多面的に評価して、検証し、教育改善に活用します。

### 1. 全学レベル

大学における活動全体を通じた全学生の学修成果の達成状況を、次のような指標に基づき評価します。

入学時	在学中	卒業時・卒業後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学試験</li> <li>・ 調査書等の記載内容</li> <li>・ 入学前教育</li> <li>・ 入学生アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GPA</li> <li>・ 単位修得状況</li> <li>・ 休学・退学・除籍率</li> <li>・ 学生生活アンケート</li> <li>・ 学修成果ルーブリック</li> <li>・ ジェネリックスキル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学位授与状況</li> <li>・ 就職率・進学率</li> <li>・ 資格・免許状の取得状況</li> <li>・ 大学満足度アンケート</li> <li>・ 就職先評価</li> </ul>

また、上記指標の評価を通して、APを満たす人材を選抜していること、CPに沿った学修がなされていること、DPを満たす成長がなされていることについて検証するとともに、3つのポリシー間の整合性も確認します。

### 2. 教育課程レベル

コースおよび教職課程・資格関連における所属学生の学修成果の達成状況を、次のような指標に基づき評価します。

#### ■ コース

入学時	在学中	卒業時・卒業後
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学試験</li> <li>・ 調査書等の記載内容</li> <li>・ 入学前教育</li> <li>・ 入学生アンケート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GPA</li> <li>・ 単位修得状況</li> <li>・ 休学・退学・除籍率</li> <li>・ 学生生活アンケート</li> <li>・ 学修成果ルーブリック</li> <li>・ ジェネリックスキル</li> <li>・ カリキュラムマップとシラバスの検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通算 GPA</li> <li>・ 卒業論文</li> <li>・ 就職率・進学率</li> <li>・ 免許状・資格の取得状況</li> <li>・ 大学満足度アンケート</li> <li>・ 就職先評価</li> </ul>

### ■教職課程・資格関連

入学時	在学中	卒業時・卒業後
	<ul style="list-style-type: none"><li>・単位履修状況</li><li>・教職ポートフォリオ</li><li>・実習報告書</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・免許状・資格の取得状況</li><li>・教員合格率</li><li>・教員就職率</li></ul>

### 3. 科目レベル

個々の授業科目を通じての履修学生の学修成果の達成状況を、次のような指標に基づき評価します。

入学時	在学中	卒業時・卒業後
	<ul style="list-style-type: none"><li>・単位授与率</li><li>・GPCA</li><li>・成績分布</li><li>・出席率</li><li>・時不率</li><li>・授業外学習時間</li><li>・授業評価アンケート</li></ul>	

### 4. データの収集・解析と教育改善の実施体制

全学・教育課程・科目のそれぞれのレベルにおいて、得られたエビデンスに基づき改善を目指したPDCAサイクルを展開します。上記指標に係るデータの収集・解析はIRセンターが行い、特に教育改善のための検証活動については、全学レベルでは運営委員会が、教育課程レベルでは教育課程検討特別委員会が、科目レベルでは教務・学生委員会が主体となり、さらなる改善活動に繋げて行きます。